

平成29年度「工業標準化事業表彰」の受賞

経済産業省工業標準化事業表彰式が10月23日(月)ホテルニューオータニ東京のザ・メインアーケード階 麗の間にて開催されました。

当協会関係者の工業標準化事業表彰の受賞者

当協会の工業標準化事業表彰の受賞者は、下記のとおりです。

■ 内閣総理大臣賞

柴田 彰 氏 自動認識コンサルタント JTC1/SC 31
※元 デンソーウェーブ

■ 経済産業大臣賞

古田清人 氏 キヤノン TC 111

■ 産業技術環境局長賞／国際標準化貢献者賞

永広祐一 氏 TBK TC 47
※元 東芝

■ IEC 1906賞

土居直史 氏 ルネサスエレクトロニクス SC 47A

加藤充次 氏 FDK TC 51

小元 亨 氏 FDK (JEITA) TC 51

神戸尚志 氏 近畿大学 TC 91

鈴木隆之 氏 日立化成 TC 91

野中一洋 氏 産業技術総合研究所 TC 91

春山 真一郎 氏 慶應義塾大学 TC 100

西田徹二 氏 富士フイルム TC 110

村田博司 氏 大阪大学 TC 110

神垣幸志 氏 キヤノン TC 111

山下 昇 氏 島津製作所 TC 111

野田 啓 氏 慶應義塾大学 TC 113



工業標準化事業表彰式の風景

柴田 彰 氏(元デンソーウェーブ) 内閣総理大臣賞を受賞

柴田氏の功績

柴田氏は、日本で発明・開発された技術である二次元バーコードであるQRコードの国際標準化を推進し、また、JIS原案作成委員会委員長として、多数の規格の国際標準化を推進し、国際規格の審議を行うISO/IEC JTC1/SC 31 (自動認識及びデータ取得技術) 国内委員長及び国際規格原案作成者として国際規格の成立に貢献したことを功績として表彰されました。



柴田氏と主催者・来賓の皆様

QRコードは、まず、自動車部品の効率的な流通を目的に開発され、1997年には業界規格として制定され、1999年にJIS X0510に採用されました。これらを基礎にして、柴田氏は、JTC1/SC 31国内委員長として、



国内の意見を取り纏め、国際提案を行い、国際規格原案作成者として国際標準化活動の中心的な役割を果たしました。そして、ついに、2000年にISO/IEC 18004として国際規格 (IS) として制定されました。

QRコードは、省スペースに膨大な情報量が伝達可能であるという特徴に加え、漢字をはじめとする各国の言語に対応可能なように開発されていたため、自動車業界にとどまらず、あらゆる企業活動において情報伝達を間違いなく行なう手段として活用されています。中国、韓国、ベトナムなどアジア圏にも広く採用され、欧米にも普及しつつあります。

現在、航空券や入場券等の情報表示、伝達手段としてQRコードを用い、携帯電話に搭載されたアプリケーションソフトを用いて、同コードを読み取ることは日常的な光景となっています。

柴田氏の国際標準化活動の取り組みは、企業活動への貢献にとどまらず、このような一般の人々の生活への便益の普及についても非常に高く認められました。



柴田氏が末松広行産業技術環境局長から表彰状を受け取る



柴田氏が末松広行産業技術環境局長から記念品を受け取る

特別講演会

柴田氏は、工業標準化事業表彰者を代表し、末松広行産業技術環境局長への答辞を読まれ、午後には開催されました特別講演会にてご講演を行われました。



柴田氏が末松広行産業技術環境局長へ答辞を読む



柴田氏が末松広行産業技術環境局長へ答辞を読む

午前の工業標準化事業表彰式の後、午後には、同会場にて特別講演会が開催されました。特別講演会のプログラムは、下記のとおりです。

平成29年度 工業標準化事業表彰 特別講演会 プログラム

13:30 ~ 13:40 主催者挨拶

・経済産業省

13:40 ~ 14:40 特別講演

演題：IECにおける国際標準化活動から学んだこと

講師：国際電気標準会議 (IEC) 元副会長 藤澤浩道 氏

15:00 ~ 16:00 受賞者講演

演題：QRコードの標準化と事業戦略

講師：平成29年度 工業標準化事業表彰

内閣総理大臣表彰 受賞

自動認識コンサルタント代表 柴田 彰 氏